



令和6年度 松江市立皆美が丘女子高等学校

# 第12号 女子高だより

女子高だよりは女子高の“今”を皆さまにお届けします

## 楽しい妄想

3年部 嘉藤沢子

「もしもシリーズ」というのが昔のドリフターズの番組にありましたが、「もしも〇〇だったら」という楽しい妄想は、私に通勤時間の長さを忘れさせ、様々な過去や未来を想定させ、心を豊かにしてくれます。

今年の生徒会誌アンケートにもあった「もしも宝くじに大当たりしたら」……私の妄想が始まります。1等前後賞あわせて10億円。まずは自分の老後の資金を確保し（介護付き高級老人ホームに入れるだけの）、子どもにポーンと家や車を買ってやり、世界一周旅行…は行かないなあ…飛行機も豪華客船も苦手なので。他には、今欲しいものやしたいことを全てしたところで、お金が余りまくるなあ。まあ親戚や、お世話になった人たちに多少配って（もちろん宝くじに当たったことは秘密で）、後は貯金かなあ。もう朝早くから夜遅くまで、あくせく仕事をする必要もないし、仕事も辞めようかなあ。

さて仕事を辞めて、のんびりと暮らす毎日。毎日何をして過ごそうかなあ??となると思いつきません。もう30年以上、今の仕事以外やっていないので。えっ、私って、そんなつまらない人間だったの? いやいや趣味もあるでしょう。お菓子作りとか。いや毎日お菓子作ってどうするの?? 誰が食べるの?? やはり趣味ではなく、何らかの仕事をしたい、仕事で人に認められ、そして報酬をもらいたい気がします。なぜかという、少し大げさかもしれませんが、私にとって、仕事が自分を活かすことであり、様々な人と出会うことであり、喜びを感じるからだからです。もちろん嫌なことや辛いこともたくさんありますが、乗り越えたり長い時間をかけて少しずつ忘れて……まあ、何とかあります。

19世紀末のドイツの哲学者ニーチェは次のように語っています。

### 仕事はよいことだ

職業はわたしたちの生活の背骨になる。背骨がなければ、人は生きていけない。

仕事にたずさわるとは、わたしたちを悪から遠ざける。くだらない妄想を抱くことを忘れさせる。そして、こころよい疲れと報酬まであたえてくれる。(『超訳 ニーチェの言葉』より)

さすがニーチェ。説得力があります。というわけで、「もしも宝くじに当たったら」、仕事は週3回くらいの非常勤にし（結局少しは楽をする）、こころよい疲れと報酬をいただく。というところで、私の妄想は終わりです。くだらない妄想を抱くことをやめて仕事に戻り、教員として生徒の皆さんに伝えたいことは次の通りです。

仕事があなたの人生の全てではないし、好きなことを仕事にしなくてもいいと思います。ただ、仕事があなたの人生の背骨になるとは言えます。どんな仕事に就くかを考えることは、どんな人生を送るかを考えることです。そして、どんな仕事であれ、快い疲れと報酬が与えられるならば、それだけで仕事はやりがいがあるものです。

## お知らせ

3月28日(金)

文化部展示発表及びダンス部・吹奏楽部定期公演  
島根県民会館(中ホール) 13:30開演  
ぜひご来場ください



## 2月19日(水) 3年生出前講座

1限 租税講座



安達悟先生(安達悟税理士事務所所長)より確定申告・日本の債務・消費税など税にまつわる話や、選挙に行くことの意味等についてのお話を大変分かりやすく説明していただきました。

## 2月28日(金) 同窓会入会式



## 令和6年度卒業証書授与式

3月1日(土)に令和6年度卒業証書授与式を挙行了いたしました。来賓の方々、保護者の皆様、教職員に祝福されるなか、普通科71名、国際コミュニケーション科18名、合計89名が女子高を巣立っていきました。



卒業証書授与



在校生代表送辞



卒業生代表答辞

卒業生代表の答辞では、前生徒会長が「これから私たちが歩いていく道も決して平坦なものではないと思います。しかし、三年間で学んだ仲間の大切さを胸に、新しい仲間と支え合いながら乗り越え、歩み続けます。また、物事に全力で取り組む姿勢と、困難を乗り越えた経験とその感動を忘れず、ここ松江市立皆美が丘女子高等学校で得た力を存分に発揮し、輝き続けます。」と力強く語りました。

住所 松江市西尾町540番地1  
TEL 0852-39-0216(事務室)  
0852-39-0217(職員室)  
FAX 0852-39-0829

発行元 松江市立皆美が丘女子高等学校

URL <https://minamigaoka-girls-hs.matsue.ed.jp/>

